

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

winter 2016
Jan.—Mar.

95

特集

オペラシアターこんにやく座

オペラ「ロはロボットのロ」

鄭 義信インタビュー

オペラシアターこんにやく座公演

RO は ロボットの RO



「ロはロボットのロ」が
めぐる新たな旅

特集

03 「口はロボットの口」が
めぐる新たなる旅

特集 オペラシアターこんにゃく座 オペラ「口はロボットの口」
鄭 義信インタビュー

ピックアップイベント

08 この冬をどう楽しむ?

山口情報芸術センター
sound tectonics #17

ライゾマティクス新作インスタレーション展オープニング・イベント

Rhizomatiks research×ELEVENPLAY「border」
—リアルとバーチャルが交錯する参加体験型のパフォーマンス

中原中也記念館

第13回テーマ展示
「中也の本棚—外国文学篇」
—詩人・中原中也を育んだ外国文学

山口市市民会館

パギヤグニーニ・ニューイヤーコンサート
—初笑いパギヤグニーニで!!

山口市誕生10周年記念事業

宝くじおしゃべり音楽館 ～思い出のスクリーンミュージック～
—あの映画の名曲をおしゃべりと生演奏で味わう

12 any 通信

- ◎アーティストボイス アラ・マリキアン (ヴァイオリニスト)
- ◎お先に試写しました 「ハッピーアワー」(濱口竜介監督)
- ◎いらっしやいませ 長州むすび 夢源
- ◎GOOD GOODS 『出会い? 発見?! 感動!! 中也読本』
- ◎My Favorite 中村久美子 (山口市市民会館 職員)

14 イベントカレンダー 1~3月
INFORMATION

めぐる新たなる旅

が

ロボットの

は

特集 オペラシアターこんにゃく座

オペラ「口はロボットの口」

インタビュー 鄭 義信

チヨン
ウイン



明瞭な日本語の歌唱によるオペラを手がける

劇団オペラシアターこんにゃく座のロングヒット作、オペラ「口はロボットの口」。

1999年の初演から2005年までの間、様々な場所で、

たくさん子どもたち、大人たちの前で上演されてきた本作は、

10年の歳月を経て、ふたたび全国各地をめぐる旅に出ました。

山口では3月に山口市市民会館で上演されます。





鄭義信 (チョン ウィシン) CHONG Wishing
1957年生まれ、兵庫県姫路市出身。劇作家、脚本家、演出家。83年、劇団黒テントに入団。87年、劇団新宿梁山泊の旗揚げに参加、96年退団。93年に初演の「ザ・寺山」で第38回岸田國士戯曲賞を受賞。一方、映画脚本にも参加し、「月はどっちに出ている」(1993)、「愛を乞うひと」(1998)などで数々の賞を受賞する。2008年に新国立劇場制作による「焼肉ドラゴン」の作・演出を手がけ、数々の演劇賞を総なめにした。

初演時もこの度の再演にあたっても
台本・演出を手がけられた
演出家・劇作家の鄭義信さん。
独特の笑いのなかに、
細かに挿みこまれた胸をつく言葉や
演出に観る者はドキリとさせられます。
そんな彼が本作をどう生み出し、
また今回の再演の旅をどうみつめているのか
去る11月、東京で鄭さんに
直接お話を伺う機会を得ました。

オペラシアターこんにゃく座公演 はロボットの

こんにゃく座の音楽監督である
萩京子さんから
子ども向けのオペラを
作ってくれないかという話が
あったのがきっかけです。

1999年に初演された「口はロボットの
口」は、どういったきっかけで作られたの
でしょうか？

鄭 こんにゃく座で音楽監督をされてい
る作曲家の萩京子さん(「口はロボットの
口」の作曲も担当)から子ども向けのオペ
ラを作ってくれないかという話をいただ
いたのがきっかけです。すぐにロボットの
話が書きたいということになったのです
が、最初のシノプシス(お話のあらすじ)で
は、家政婦ロボの設定でした。実際に書
きだしたら全然違う話になり、いつの間
にかパン作りのロボットの話になり…。萩さんと

はそれまでに一緒にオペラを作ったこと
がありますが、こんにゃく座さんとおつき
あいするのはこの作品が初めてで、以降
オペラ「まげもん—MAGAEMON」、オペ
ラ「ネズミの涙」という作品を作りました。

オペラ作品と演劇作品の作り方に違いは
ありますか？

鄭 オペラということはあまり意識せず
に作ってきました。意識しちゃうと難しい
ことになってしまうから。「口はロボットの
口」は、基本的に子ども向けということ
ですごく分かりやすいストーリーになっ
ているし、共感できるキャラクターが出て
くるようにしています。

どの台詞やシーンに歌や音楽をつけるの
かは完全に作曲をされる萩さんにお任せ
です。そこは作曲家の領分というか、オペ
ラというトータルの地図、航海図は作曲
家である萩さんが描かれた方がいいと思

うので。作っていきながら言葉が足りな
いと思う部分があれば、あとで演出しな
がら埋めていったり、作曲される萩京子
さんに「この曲はもっと長めに延ばして
ください」と頼んだり、共同作業のような形
でやることもあります。逆に萩さんから「こ
こで何小節か間が欲しい」というのがあ
れば、その間をどう埋めるかをこっちで考
えることもあります。お互いに「どうだ、こ
れで!」と、挑戦状を突きつけあっている
ような感じですかね(笑)。

随所に笑いの要素が盛り込まれていて、吉
本新喜劇を思わせるようなギャグや激し
い体当たりなギャグもありますよね(笑)。

鄭 すみません、僕、出身が関西で、子
どもの時からずっと吉本新喜劇を観て育っ
たようなものなので、ギャグは3回押さな
いと気が済まない(笑)。子どもは割と激し
い方が好きだし、カエルとか魔女とか変



◎あらすじ パン製造ロボット・テのたったひとつ得意なこと、それはパンを作ること。ところがある日、パンを作る数が1つずつ減ってきてしまう。テは故障を直してもらうため、一人、イーストランドにいるドリトル博士をたずねて旅に出る。イーストランドでは魔女とわがままな女王、金に目がない家来が、町を支配していた。イーストランドの人々を助けようと、テはパンを作り続ける…。思いきり笑って、思わずホロッとさせられる、いまを生きる子どもたち、大人たちに贈るエンターテインメントSFオペラ。

色々な要素が
詰め込まれた
おもちゃ箱みたいな
作品です。

わたたものもいっぱい出てくるから、みな
なこの作品を生き生きと観ていますよ。と
くに小さい子はカエルが出てくるのが好
きだね。魔女にはおっかなびっくりな反
応をするけど。この作品がインドネシアで
上演されたときに印象的だったのが、カ
エルが出てきたときにびっくりして、ず
っとカエルの動きを追っかけていた2〜3
歳くらいの男の子がいて…、むしろカ
エルしか観ていなかった(笑)。
いっぱい変なキャラクターが出てきて、
おっかなびっくりだったり、大好きだっ
たり、おもしろかったり、泣いたり笑っ
たり、色々な要素が詰め込まれたおも
ちゃ箱みたいな作品です。

初演からこの度の再演で一番大きく変
わったのはどの部分ですか？

鄭 一番はセットが大きく変わったとい
うところですかね。本当は旅公演のため

にセットはコンパクトにしようと言っ
たのに、いつのまにか大がかりなセッ
トになってしまって(笑)。前回以上にぐ
る舞台セットが回っています。小部屋
を作ったり色々仕掛けも加えたり。あと衣裳
もがらっと変わったし、役者も若手が多
くキャスティングされています。

子どものときに観た人が
親になって今度は子どもと
一緒に観に来てくれる、
そういう意味で
幸せなオペラだなと思います。

セットが変わったことでもちろん演出も
変わりましたか？

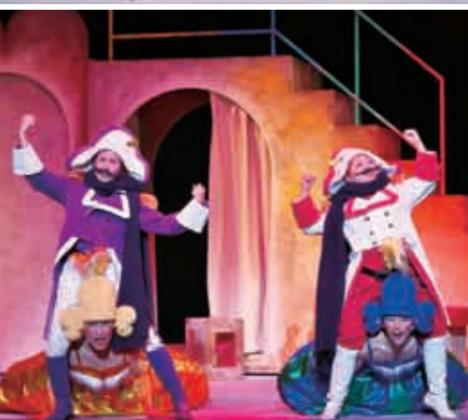
鄭 セットにあわせて演出も変えました
ね。振付家も変わって、動きもずいぶん
変わりましたし、色々リニューアルして



◎サウンドシステムの音がいいの、更にライブを濃くしています。(40代男性 「sound tectonics #16」より)
◎楽しかったです。去年のコロガルパピオンみたいにたくさん走れる場所があったらもっと良かったです。(10歳未満女性 「Think Things」より)
◎とても好きな2人の作品や、持ち物、交流を知ることができて、とても感動しました。また2人のコラボがみたいです！(20代女性 「萩原明太郎と中原中也」より)
◎詩と町と人を関連づけた展示さすがです！(40代女性 「中也の住んだ町—新宿」より)



【オペラシアターこんにゃく座】 自国語のオペラ作品をレパートリーとし、恒常的にオペラを上演する専門のオペラ劇団として1971年に設立。ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作。現在、萩京子が代表・音楽監督を務め、約40名の団員によって、年間およそ250公演の上演活動を続けている。



1999年から2005年まで再演に次ぐ再演で、日本中あちこちで上演してきたし、インドや韓国など海外も旅してきた作品だから、もうやりつくしてここで打ち止めかなと思っていましたが、10年たってまた再演したいという声をいただいた。初演から10年以上たっているから、子どものときに観た人が親になって今度は子どもと一緒に観に来てくれる、それはとても素敵だなと。そう言う意味では幸せなオペラだなと思います。

テーマ曲に出てくる たくさんの「あ」。

テーマ曲となる「テトのパンはあ」ですが、歌詞になぜこんなにもたくさんの「あ」が出てくるのか不思議でした。でも、納得したときの「ああ」や驚きの「あ！」など、「あ」はつい口に出てしまう言葉ですね。

鄭 それに「新しい朝のあ」という歌詞のように、ものごとの始まりだったり、第一歩だったりもする。「あいうえお」のなかでも「あ」が一番最初にくる言葉でもありますね。

「口はロボットの口」 のテーマ曲 (抜粋)

「テトのパンはあ」
詩: 藤原 曲: 萩原 子
テトのパンはあ あいうえおのあ
テトのパンはあ おいうえおのあ
忘れていた 青空のあ
いつまでも見つめつけていた
あの遠い夏の日の 青空のあ
テトのパンはあ あいうえおのあ
晴れた日も 曇った日も 雨の日も
暑いときも 寒いときも
新しい希望と 新しい喜びと
新しい元気が歌のあ
あああ 新しい朝のあ

ところで、パンを作るシーンではおいしい
そうなパンが登場しますが、鄭さんはど
んなパンが好きなんですか？

鄭 ぼくはあんこ好きなので、あんパン
ですね。

お芝居に出てくるのは甘いパンばかりで
すね。カレーパンとかは出てこない(笑)。

鄭 甘いパンが好きだから。確かに登場
するのは菓子パン系ばかりだな。

ここにおかずパンが入るとイメージがま
たがらっと変わっちゃいますね。パンを
作るときのシーンで特別な演出はありま
すか？

鄭 パンをこねたりするときに粉が舞い
上がる、そんな煙が立ち上がるような感
じにはしてみたかったので、舞台監督と
色々話し合った結果、すごく単純な方法
ですが、小麦粉をまぶしてみようと。それ
だけで本当にパンの生地を作っているよ
うに見えるんです。

「口はロボットの口」という題名はとて
も印象に残るタイトルですが、これは台本
を書いた後につけられたのですか？

鄭 僕はいつも題名を先に考えて台本を
作っています。いい題名が浮かんだら大
体いい感じに本が書けるんです。だから
「口はロボットの口」も最初にそういう題
にしようと思ってから書いたものです。レ
イ・ブラッドベリというSF作家の作品が
昔好きでよく読んでいて、彼の作品に「ウ
は宇宙船のウ」という話があるんです。そ
れにひっかけてタイトルをつけたところ
はあります。だけど中身はまったくブラ
ッドベリとは関係ないですけどね。

みんなで
歌おう！



自分の好きなことを
一生懸命やれば
何かいいことがある。

観た人に色んなふうに
感じてもらったらいいし、
考えてもらったらいいと
思っています。

いま寂しさを癒すためのお話をするロ
ボットがいたり、初演の頃に比べて、ロ
ボットはもっと身近な存在になったよう
にも感じますが、作品の見方も変わっ
てくるでしょうか？

鄭 これを書いていた時は感情をもた
ないはずのロボットに感情があるという設
定で、少女との人間的な交流が生まれる。
また人間が科学技術を使って社会を悪く
してしまったので、僕はもうロボットのこ
とには一切手を出さないという考えの博
士が出てきたり、逆にロボットを利用し
ようとする人も現れて、色んな人たちの思
惑がそこには渦巻いている。ロボットとい
うのはきっと人間の暮らしを役立てるも
のではあるけど、どんどん技術が進んで
いったとき、科学と文明が便利さを追い

求めるあまり人間はどうなっていくんだ
ろうというアンチテーゼを含んでいます。
ですが、その部分については、観た人に色
んなふうに感じてもらったらいいし、考
えてもらったらいいんじゃないかなと思っ
ています。主役のテトに僕はロボットとい
う役を与えているけど、観ている人にとっ
ては、テトはテトというふうにいる
だろうし、とくに小さい子は、テトをロボ
ットとしてみてなくて、自分のお友達
のように感じているんじゃないかな。

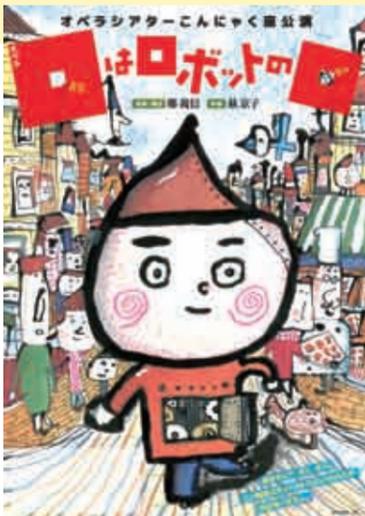
テトはロボットというよりもとても人間的
で感情豊か。パンがたくさん作れるとい
う以外は、普通の少年ですよ。そんなテ
トの物語を見た子どもたちにどんなメ
ッセージが届いたらいいと思いますか？

鄭 自分の好きなことを一生懸命やれば
何かいいことがあるよ、ということですか
ね。テトはパンしか作ることはできなく
て、苦手なことばかり。だけど自分の好き
なことがある、その好きなことを大切に
して欲しいと思います。

オペラシアターこんにゃく座 オペラ 「口はロボットの口」

2016年3月3日(木)
18:30 開演(30分前開場)
会場:山口市民会館 大ホール

[チケット情報] any会員先行予約 1月9日(土)~
一般発売 1月16日(土)~
[料金] 全席指定 ※4歳以上有料
前売 一般 3,000円
any会員 2,500円(1会員4枚まで)
当日 3,500円



PRESENT

オペラ「口はロボットの口」の公演
ご招待券並びに劇中曲が入った
CDをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明
記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連
絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、1月31日
(日)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご
応募ください。

A オペラ「口はロボットの口」公演
ご招待券 (ペア5組)

B CD オペラ「口はロボットの口」(1名)

オペラ「口はロボットの口」
の劇中で登場する歌と音
楽を収録したCD。



【あて先】〒753-0075 山口市中園町7-7
(公財)山口市文化振興財団
「any vol.95 特集プレゼント」係
FAX:083-901-2216 e-mail:any@yfcfp.or.jp
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

観る！聴く！読む！
●食のバイオという印象はあまり感じられなかったが、サイエンスを身近に感じられる演出があって良かった。(30代女性 「アグリバイオキッチン vol.2 バイオ」より)
●おじいちゃん達の映像と響きに味わったことのない感じを受けてすごかったです。(20代男性 「sound tectonics #16」より)
●2人の孤独な詩人がどのように関わり、文学に影響を与えていったのかとても興味深かった。(20代男性 「萩原朝太郎と中原中也」より)
●八木重吉、宮澤賢治につながる中也を見だせて良かった。(50代女性 「中也 祈りの詩」より)

山口情報芸術センター (YCAM)

http://www.ycam.jp/

sound tectonics #17 / ライゾマティクス新作インスタレーション展オープニング・イベント

Rhizomatiks research × ELEVENPLAY「border」

2016年2月27日(土)・28日(日) ※公演時間:60分 / 1日16ステージ ※開始時間はお問い合わせください。

会場:スタジオA

リアルとバーチャルが交錯する
参加体験型のダンスパフォーマンス

デザイン / アート / エンジニアリングを横断するクリエイター集団「ライゾマティクス」による新作展が2月27日からYCAMでスタート。そのオープニングを飾るイベントとしてライブを開催します。12月初旬に東京・青山のスパイラルホールで行われた、ダンスカンパニー「ELEVENPLAY」とのコラボレーションによるダンスパフォーマンス「border」をアップグレードした完全版が披露されます。観客は、インスタレーション空間内で使用される、動きをプログラムで完全制御されたパーソナルモビリティ「WHILL」に乗り、ヘッドマウントディスプレイを装着。ディスプレイの視界に広がるバーチャルのステージ空間と、カメラ映像による実写風景が、AR(オーグメンテッドリアリティ:拡張現実)によって、データ空間に重ね合わされ、鑑賞者はリアルとバーチャルの区別がつかなくなる迷宮的な空間表現と身体表現の世界へとござなわれます。



「border」イメージビジュアル

わたしはココに注目する!

WHILLの動きは完全にプログラミング制御されるため体験者は自由な移動が制限されつつも、ELEVENPLAYのダンスと見事にコラボレーションします。その様子を外側から鑑賞すると、また違った見え方が広がり、作品のより深い体験へとつながります。

チケット情報 1月9日(土)～

料金 体験+鑑賞 一般 4,500円 any会員・特別割引 25歳以下 3,500円
鑑賞 1,000円 ※鑑賞チケットは、当日券のみ。会場にて販売いたします。

イ ベ ン ト レ ポ ー ト

Yamaguchi Mini Maker Faire 2015

2013年に引き続き、YCAM館内と中央公園を会場に開催されたものづくりの祭典「Yamaguchi Mini Maker Faire」。9月19日・20日の2日間にわたって、山口を中心とする幅広い地域の技術者や開発者、教育機関や企業など100以上の出店者が集い、それぞれの展示や発表、ものづくりを通じた交流が行われました。また今年は前回は上回る7000人以上のお客様が会場を訪れ、大いににぎわいました。会場内では常にロボットが徘徊したり、オリジナルの電子基板や電子工作が並ぶブースもあれば、手作り感満載の大きなエアドームがあったり、またソフビメイクのワークショップも行われるなど、多種多様なものづくりの担い手が参加。プレゼンブースでは「ロボコン(技術力の低い人限定ロボットコンテスト)」が開催され、小学生から大人まで幅広い世代が参加し盛り上がりを見せました。場内のあちこちで世代を超えたものづくりの交流が行われ、活気と熱気に満ちた2日間となりました。



- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
- 特別割引:シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- いずれの公演も特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

mini PICK UP!

ライゾマティクス
新作インスタレーション展

2016年2月27日(土)～5月8日(日)
10:00～19:00

会場:山口情報芸術センター
スタジオB



展示イメージ

斉藤精一、真鍋大度、千葉秀憲らが在籍し、ウェブデザイン、インタラクティブデザイン、グラフィックデザイン、衣装・建築など多様な分野で活動しているクリエイター集団「Rhizomatiks(ライゾマティクス)」。そんな彼らが2013年の展示以来3年ぶりに再びYCAMに登場。新作のインスタレーション作品を制作、発表します。またオープニングには「Perfume(パフューム)」の振り付け演出を手がけるMIKIKO率いるダンスユニット「ELEVENPLAY」とコラボレーションしたダンスパフォーマンスも行います。(ダンスパフォーマンスについては左記を参照ください。)

[料金] 無料

旅するYCAM

「Dividual Plays」
神奈川公演



世界的に活躍するダンサー・振付家の安藤洋子とYCAM InterLabを中心としたメディアテクノロジーの専門家たちによって数年かけ開発したダンサーのためのインタラクティブなシステム「RAM」。そのシステムを用いて、2015年1月にYCAMでダンス作品「Dividual Plays-身体は無意識とシステムとの対話」を制作、発表。その改訂版がこの2月に、神奈川芸術劇場(KAAT)で再演されることに。YCAMがもつ技術や知見が詰め込まれた本ダンス作品が、神奈川の地でのような変化をとげるのか、チャンスがある方はぜひ自身の目でご覧ください。

早いものでもう1年がたち、2016年がスタート。
新しい年を、そしてこの冬をみなさんはどう楽しもうと計画中でしょうか?
山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市市民会館の3館ではそれぞれの館の特徴にあわせた様々な催し物をご用意しています。寒さを吹き飛ばす楽しいイベントに出会いにぜひおでかけを!

2016

- A. Rhizomatiks research × ELEVENPLAY「border」(イメージビジュアル)
- B. 中原中也記念館(中原中也肖像写真、1925年撮影)
- C. 第43回市民コンサート(昨年開催の様子)
- D. パギャクニョ・ニューイヤーコンサート
- E. 斉藤和義LIVE TOUR 2015-2016「風の果てまで」
- F. 中原中也記念館(建物外観)
- G. ライゾマティクス新作インスタレーション展(前回の展示の様子)
- H. 宝くじおしゃべり音楽館～想い出のスクリーンミュージック～

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

第13回テーマ展示

「中也の本棚—外国文学篇」

2016年2月24日(水)～2017年2月12日(日)

詩人・中原中也を育んだ外国文学

中也は中学時代、友人の詩人・富永太郎を通じ、ボードレル、ヴェルレーヌ、ランボーらに代表されるフランス象徴詩を学びます。その世界に強い影響を受けた中也は、東京外国語学校などでフランス語を習得し、3冊のランボー翻訳詩集を刊行するなど、終生、フランス文学に強い関心を持ち続けました。

また、日記の読書記録や友人に宛てた手紙からは、中也がフランス文学以外にも、イギリス、アメリカ、ロシア文学などの多様な外国文学を読み、詩人としての文学的素養を育んでいったことが分かります。本展では、中也と外国文学の関わりと、作品にみられるその影響を紹介します。



中原中也訳「ランボオ詩集」
(1937年、野田書房)

わたしはココに注目する!

中也といえばフランスのイメージが強いですが、日記や手紙にはワイルド、ポー、チャーホフなど、フランス文学以外の作家の名も登場します。中也がナビゲートする外国文学案内としてもお楽しみください!

入館料 一般 320円(270円)/大学生 210円(162円)

※あわせてテーマ展示もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上は無料 ※()内は20人以上団体料金

検定 中也

Q 中也の友人の一人で批評家として知られる小林秀雄の随筆「或る夜の感想」によると、戯曲「三人姉妹」の台詞を何かにつけて言うことが、中也や小林たちの間で流行した時期があったそうです。中也は主要キャストの一人である軍医・チェプトウイキンのく事によつたら、俺はまるで存在してゐないのかも知れないぞ。俺は只歩いたり、食つたり、眠たりしてゐるやうな気がするだけかも知れないぞ。(米川正夫訳)という台詞をたびたび口にしていたそうですが、周りの人たちにとっては、面白くもおかしくもなく、聞いていると薄気味悪くないやな気持ちになつてくるため、皆閉口したといひます。さて、1901年に初演され、現在でも繰り返し上演されているこの戯曲の作者は誰でしょうか。

- 1 シェイクスピア
- 2 モリエール
- 3 チャーホフ

答えは14ページ

山口市市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

パギャグニーニ・ニューイヤークンサート

2016年1月11日(月・祝) 15:00開演

会場:大ホール

初笑いはパギャグニーニで!!



スペインから誕生した弦楽四重奏による最高のエンタテインメント集団「パギャグニーニ」。ヨーロッパを中心に活躍する彼らは、超絶

の名曲もあれば、U2といったロックも弾きこなし、多くの音楽ファンを虜にしています。2013年に引き続き、2度目の来日公演がこの冬実現。なかでもスタンディングオベーションが沸き起こるほどの熱気に包まれ、大好評に終わった山口公演はツアーでも一番の盛り上がりだったとか。抱腹絶倒間違いなし。2016年の初笑いにぜひパギャグニーニにお越しください。

わたしはココに注目する!

リーダーであり演出の総括的な役割も担うアラ・マリキアン。一見ふざけているようにもみえる彼のパフォーマンスですが、あなごなるなれ!! その超絶テクニックにきつと誰もが驚かされることでしょう。(アラ・マリキアンからコメントをもらいました。本誌P12「Artist Voice」をご覧ください)

チケット情報 発売中

料金 全席指定 前売 一般 4,000円 25歳以下 2,000円 ※any会員は各500円引き(1会員4枚まで)

山口市誕生10周年記念事業

宝くじおしゃべり音楽館 ～思い出のスクリーンミュージック～

2016年3月5日(土) 18:30開演 (17:30開場)

会場:大ホール

あの映画の名曲をおしゃべりと生演奏で味わう



「愛情物語」「風と共に去りぬ」「サウンド・オブ・ミュージック」「レ・ミゼラブル」など誰もが感動し、胸躍らせた名作

別に編成されたオーケストラ「おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ」のダイナミックな演奏にもご期待ください。映画とともに味わった名曲と、映画を観た時の新鮮な感動を、色鮮やかによみがえらせてくれることでしょう。歌あり、オーケストラの演奏あり、そして3人の息の合ったトークありと、満足感たっぷりのコンサートにぜひご来場を!!

わたしはココに注目する!

オーケストラの演奏はもちろん、小原孝さんのピアノ弾き語りコーナーに、清水ミチコさんのミニライブコーナーまであって、チケットはお手頃価格なのに、内容はとっても豪華。これは行かないと損ですよ!!

チケット情報 発売中

料金 全席指定 前売 一般 2,500円 高校生以下 1,500円

※当日券は各500円高 ※宝くじの助成により、特別料金となっております。

【出演】清水ミチコ(司会・ピアノ)/小原孝(ピアノ)/島田歌穂(歌) 【演奏】おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ

【曲目】美しき青きドナウ(「2001年宇宙の旅」より)/タラのテーマ(「風と共に去りぬ」より)/「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー/On My Own(「レ・ミゼラブル」より)/ミッション・インポッシブルのテーマ ほか

- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
- いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。
- 特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- 特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

中也を味わおう

夜更の雨

— エルレーヌの面影 —

雨は 今宵も 昔 ながらに、
昔 ながらの 唄を うたつてる。
だから だんだん しつこい 程だ。
と、見る エル氏の あの図体が、
倉庫の 間の 路次を ゆくのだ。
倉庫の 間にや 護謨合羽の 反射だ。
それから 泥炭の しみたれた 巫戯けだ。
さてこの 路次を 抜けさへ したらば、
抜けさへ したらと ほのかな のぞみだ……
いやはや のぞみにや 相違も あるまい?

自動車 なんぞに 用事は ないぞ、
あかるい 外燈などは なるの ことだ。
酒場の 軒燈の 腐つた 眼玉よ、
退く(とお) 方では 舍密も 鳴つてる。

【解説コメント】
詩集『在りし日の歌』収録の詩。副題に「エルレーヌの面影」とあるように、フランスの詩人・ヴェルレーヌが登場する作品で、その表現にも影響がみられます。
冒頭2行はヴェルレーヌの詩集『言葉なき恋歌』に取られた詩の一節「巷に雨の降る如く／われの心に涙ふる／かくも心にしみ入る／この悲みは何ならん?」(堀口大学訳『ヴェルレーヌ詩抄』)のイメージと結びつきます。
翻訳では最も多くランボーに取り組んだ中也ですが、詩作に関してはヴェルレーヌの影響が多く指摘されています。この作品では分ち書きの手法で音節を区切ることで、独特の詩のリズムを生み出していますが、ヴェルレーヌもまた詩の音楽性を重視した詩人でした。ヴェルレーヌの詩は多数の歌曲にもなっており、その点も中也と共通しています。



●NONOTAK良かったです。メインの人達はずっと良かった。構造的なと非構造的なとの対比が良かった。(40代男性 「sound tectonics #16」より)
●結構難しい話でしたが、実験などを通し、楽しく学べました。(20代男性 「アグリパイオキッチン vol.2」より)
●中也と祖母は同じ学年。写真を見ながらこの時代を、この雰囲気の中を生きていたのだな…と不思議な気持ちになりました。(40代女性 「中也の住んだ町—新宿」より)

any通信

雪だるま、
今年はいくつ
作れるかな。



声であそぼう ～鷺流狂言と詩のワークショップ



米本さんの朗読を聴く参加者

朗読を好んだ中原中也にちなみ、詩を声に出して読んだり、詩から感じたことを動きで表すなど、身体を通じてことばや詩のおもしろさを見つけるワークショップを10月に開催。講師に山口鷺流狂言保存会の米本太郎さんをお招きしました。取り上げた詩は中原中也の

「サーカス」「月夜の浜辺」、北原白秋「からたちの花」、草野心平「春のうた」の4篇。集まった8人の子どもたちは2つのグループに分かれ、米本さんに学んだ狂言の独特な発声法を詩の朗読に生かそうと、それぞれに工夫をこらしました。しめくりはグループごとに2篇ずつの詩を朗読するミニ発表会。さまざまな声が重なりあいながら会場に響きました。

アメリカからやって来た ゲストをご紹介します



ゲストのリザ・アリ

外部から若手エンジニア／アーティストを招いてYCAM InterLabスタッフと共同開発を行う「ゲストリサーチプロジェクト」。今年度のゲストは、コンピューティングを使用したジェネレーティブアートの

デザイナー／リサーチャー／エンジニアとして活躍するアメリカ人のリザ・アリさん。リザさんがこれまでにどんな作品を制作してきたのか、館内に展示コーナーを作ってご紹介します。また期間中、ワークショップも開催予定。あわせてお楽しみください。

Guest Research Project vol.3
関連展示
開催中～2016年2月21日(日)



リザ・アリによる「ペーパーギャラクシー」ワークショップ開催の様子

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

アラ・マリキアン(ヴァイオリニスト)

スペインで誕生した弦楽四重奏団「バギャグニーニ」。セリフは無く、常にステージや客席を動き回り、観客の意表を突く演奏テクニックとユーモアあふれる演出で、世界中のファンを虜にしています。満を持して登場した2013年の初来日公演は、リーダー、アラ・マリキアンさんにとってどんな思い出に残っているのでしょうか？

また1月に日本で、山口でお会いしましょう。



こんにちは。アラ・マリキアンです。スペインでは数多く演奏をしていますが、これまでに日本、メキシコ、イギリス、ニューヨークなど、世界中で演奏をしてきました。

私たちは心から日本を愛していて、すべての日本人のことが大好きです。2年前のバギャグニーニの日本公演では、素晴らしい経験をさせていただき、非常に心地よい想いをさせていただきました。それは、言うまでもなく、素晴らしいエネルギーを与えてくれる素敵な観客のみなさまがいらっしゃるからです。

ですから、再び来日して、この素晴らしい観客のみなさまと再会でき、演奏して一緒に楽しんでいただけるのはとても幸せなことです。また、1月に日本で、山口でお会いしましょう。山口市民会館でまた一緒に盛り上がりさせていただけると嬉しいです。

バギャグニーニ 日本ツアー2013 山口公演

2013年12月15日
会場：山口市民会館 大ホール



2013年の山口公演の様子

世界中の観客を夢中にさせる弦楽四重奏団「バギャグニーニ」。その初来日公演が2013年冬に行われ、小さな子どもから大人まで幅広い世代の観客が会場を訪れた。とくに山口公演では、最後スタンディングオベーションが沸き起こるほどの感動と余韻に包まれ、大好評に終わった。2016年1月に再び来日、山口公演は1月11日に行われる(本誌P11参照)。

アラ・マリキアン Ara Malikian

1968年、レバノンでアルメニア系の家庭に生まれる。メンデルスゾーン国際コンクール(1987、ベルリン)やサラサーテ国際コンクール(1995、スペイン)で優勝。40以上の国々での演奏を行い、20枚以上のCDをリリース。また、世界各地のオーケストラとも共演。ジャズやタンゴ、フラメンコのアーティストとのコラボレーションや映画音楽など多岐に渡る。

お先に 試写し ました



©2015 神戸ワークショップシネマプロジェクト

「ハッピーアワー」

(2015年/日本/317分/カラー)

【監督】濱口竜介 【出演】田中幸恵、菊池葉月、三原麻衣、川村りら、申芳夫、三浦博之

歴史あるスイスのロカルノ国際映画祭で、全く無名の4人の女性が最優秀女優賞を得た話題作です。この映画の出演者は、濱口竜介監督が行った神戸での「即興演技ワークショップ」の受講者で、普段は別のお仕事をされています。プロの俳優ではないからこそ生み出される独特の実感、そのアンサブルを一から構成した濱口監督の卓抜な脚本力(チームで執筆)・演出力は他に比べる才能がありません。上映時間5時間17分、3部構成。おそらく一瞬です!とは云いませんが、この映画を体感するのにこれ以上適した時間はないと、見終わると確信することができます。表情や動作の一つ一つ、それらが重なっていくことで、登場人物の心情を深く感じとっていきます。台詞は多く、同時に、肝心なところを迂回していく。見ているとそれが不思議と心地よい。本作は、「人の話を最後まで聞く映画」と云えるかもしれません。案外普段の生活では、正面を

向いて、人の話を最後まで聞いたりはいらない。そして、話を最後まで聞いても理解できないこともある。ここまでは日本映画でよく描きそうなテーマです。しかし「ハッピーアワー」は、ニヒリズムに陥りそうな最後の最後で持ちこたえ、凡百な映画の一步上を行っています。大事なことは、他人との溝を知ること、そこに橋を渡すには言葉だけでなく、行動だけでなく、想像力が必要だということでしょうか。半日、スクリーンと向き合っていた価値は保証します。必見。

杉原永純 (YCAM シネマ担当)

2016年2月11日(木・祝)、
14日(日)、2月27日(土) ほか
各日 第1部 13:30～/第2部 15:40～/
第3部 18:00～(各部入替制)

※ほかの上映日についてはお問い合わせください。
会場：山口情報芸術センター スタジオC

【料金】一般 1,300円
any会員・特別割引・25歳以下 800円



©2015 神戸ワークショップシネマプロジェクト

「ハッピーアワー」作品紹介

30代も後半を迎えた、あかり、桜子、美美、純の4人は、なんでも話せる親友同士だと思っていた。純の秘密を知るまでは…。彼女たちの動揺は、それぞれの人生をも大きく動かすきっかけとなっていく。つかの間の慰めに4人は有馬温泉へ旅行に出かけ、長い夜に彼女たちは問いかける。私は本当にたかった私なの？

My Favorite ♡

会館エントランスホールにある丸い小窓から中庭を眺めた景色です。壁面のツタが、窓からの景色をおしゃれに縁取っています。窓から見える、暖かな日差しに包まれた中庭、夜になるとライトアップで幻想的な雰囲気となる中庭を、素敵に演出してくれます。

中村久美子 (山口市民会館 職員)



中村 久美子

いらっしませ



アジフライセット
(味噌汁、つけもの付)
800円

最高に美味しいおむすびと出会えます

2014年12月の開店から、1年とたたないうちに、昼夜問わず多くの客でにぎわう人気店となった夢源。本日はお昼の定食に、この冬から新たに加わったというアジフライセットを注文。からっと揚がったアジフライは身がふっくらして、うん、美味い!! 2個選べるおむすびには、やはり塩むすびと梅むすびが王道かな。では塩むすびから。うわ、お米の一粒、一粒がつやつや、噛めばもちっとした歯ごたえ。お米のうま味がシンプルな塩むすびだからこそ際立つ。加えて自家製のたたき梅のむすびは、酸味が胃袋にしみわたり、体を元気にしてくれる気がする。人生で一番おいしいと思うおむすびに出会えました。

長州むすび 夢源

山口市湯田温泉1-11-19 TEL.083-923-2618

営業期間:11:00～14:00 / 18:00～23:00

(金・土のみ24:00まで)

休業日:日曜(たまに開けていることもあり)

GOOD GOODS



『出会い? 発見? 感動!! 中也読本』

この本を読めば 中也のことがまる分かり!!

中原中也の詩を題材とし、山口市の中学生向けに制作された副読本が、多くの反響を呼び、再編集されて一般の方にも手に取っていただけるようになりました。「知っちゃう? 中也」「読んじよる?! 中也」「深いね! 中也」「もっと知りたい! 中也(資料編)」という4つの構成で、読み進めていくうちにどんどん中也に詳しくなっていくうちに中也の魅力にはまっていく(?)内容になっています。ほかに詩人・谷川俊太郎さんや、第15回中原中也賞受賞の文月悠光さんによるエッセイ、さらに小ネタを盛り込んだコラムもあって読み応えたっぷり。中也のことを少し知っている人も、まったく知らない人にも最適な1冊です。

価格:1,000円(税込)
サイズ:B5判 オールカラー64ページ

は
ポ
ト
ド
ロ



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

